



西日本豪雨からみる「災害への備え」

今年7月に日本列島を襲った豪雨。過去30年間で水害としては最大の犠牲者を出したほか、道路や鉄道、水道などのライフラインが長期間にわたって断絶するなど、甚大な被害が出ました。和歌山市でも道路の冠水や土砂崩れなどの影響が出ました。多発する自然災害にどう備えればよいのでしょうか。

地点名	60分雨量 (mm/h)	累積雨量 (mm)	累積日時
和歌山	45	128	07/04 08:10
梅原	51	149	07/04 08:00
回崎	9	99	07/04 08:10
加太	23	108	07/04 08:30
塩ノ谷	7	69	07/04 08:40
六十谷	8	73	07/04 08:40
和歌浦中	23	115	07/04 08:20
和歌山市中消防署	38	109	07/04 08:30

今年7月6日0時過ぎの和歌山県設置の雨量計のデータ。同じ和歌山市内でも雨量に大きな差があるのがわかります

今回の豪雨では、和歌山県が設置している雨量計で、和歌浦中で1時間に74ミリの非常に激しい雨を記録したほか、和歌山地方気象台のアメダスの観測では7月5日から6日にかけての総雨量が355ミリと記録的な雨量となりました。和歌山市内の幹線道路では冠水が相次いだほか、鉄道の運休や道路の通行止めなどにより通勤・通学に大きな影響が出ました。

ところが、県設置の雨量計の7月6日0時前後のデータによると、和歌山市西部で1時間に30ミリを超えるような雨が降っている。同じ時間帯、和歌山市東部では1時間10ミリに満たない雨量で、同じ和歌山市内でも数キロ離れただけで雨量に大きな差があったことがわかります。

このようにごく狭いエリアで大雨が降った場合、気象台のアメダスだけでは十分に状況が把握できないことがありうるということがわかります。一部の報道機関では気象台のアメダスのほか、自治体などが設置している雨量計のデータも紹介するようになっていますが、このような情報はまだまだ広く使われていないようです。

日本防災士会和歌山支部の早稲田眞廣支部長は、今回の大雨で記録的な雨量を記録した高知県内の人的被害が他県に比べて非常に少なかったことに注目しています。高知県馬路村魚梁瀬(やなせ)では6月28日からの10日間の雨量が1800ミリを超え、気象庁が全国に設置しているアメダス観測点のなかでも飛び抜けて大量の雨量を記録しています。高知県の

まとめでは、この大雨で11棟が全壊するなど92棟の家屋が損壊し、800棟以上が床上・床下浸水しました。また土砂崩れによる集落の孤立も多数発生しましたが、人的被害でみると亡くなった方は3名、けがをした方が1名と、家屋の被害と比較して人的被害が少ない傾向がうかがえます。早稲田支部長は「もともと大雨による災害が多い地域で、防災への関心が高く人的被害の少なさにつながったのではないかと指摘しています。」



和歌山県庁が提供しているリアルタイム雨量・河川水位情報のページ。随時更新されています。

ただ、地震への備えもとても大事ですが、地震よりも発生頻度が高い水害についての対策についてはどうでしょうか。昨今の水害を受けて、浸水対策を

契機に各地で結成された「自主防災組織」も高齢化や、代替わりが進まないなどの理由で、最近動きが止まってきているところも少なくない、といわれています。こうした課題への対応も求められます。

和歌山県では南海トラフを震源とする大きな地震への備えが進められています。しかし先日も本紙で「地震保険への加入率が他県に比べて低い」という課題が指摘されていました。東日本大震災を契機に各地で結成された「自主防災組織」も

はじめとしたハードの整備も県内あちこちで進められています。今回の和歌山での大雨でも「防災無線の音が雨の音にかき消されてわからなかった」といった声が多く聞かれました。わたしたち住民の側の備えは十分でしょうか。

気象台が発表する注意報・警報や土砂災害警戒情報、それに自治体が発表する避難に関する情報は、防災無線や広報車などで周知されることも多いものの、大雨が降っていたり、夜間で雨戸などを締め切っていたりする

と屋内では聞こえないことが多く、結果として情報の入手が遅くなりがちです。早稲田支部長は、行政機関が提供している「防災メール」の受信登録や、警報等が発令された場合に自動的に電源が入るラジオ等の活用など、自ら情報入手する手段を持つことが重要だと提言しています。

いくらハードが整備されても、最終的に自分の命を守るのは自分であること。これをいとも忘れないようにしたいですね。(志場久起)

【行政が提供する防災情報提供サービスの例】

- ◆和歌山県の防災ポータルサイト「防災わかやま (<http://bousai-portal.pref.wakayama.lg.jp>)」。メール配信サービスでは河川水位、雨量情報、避難情報など、自分がほしい情報を携帯電話・スマートフォンのメールで受信することが可能。
- ◆和歌山市防災情報メール (<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/> ページ番号 1006044)
- ◆海南市メール配信サービス (<http://www.city.kainan.lg.jp>) 右側のバナーから
- ◆紀の川市メール配信サービス (<http://www.city.kinokawa.lg.jp>) 右側のリンクから
- ◆岩出市メール配信サービス (<http://www.city.iwade.lg.jp>) 左側のリンクから
- ◆紀美野町はウェブサイトの「現在の町内における気象情報」ページからリアルタイム雨量・水位などの確認が可能。また電話で防災行政無線の内容を聞くことができるサービスがあります。
- ◆バナナ防災ラジオ (FM ワカヤマが販売) では、和歌山市の防災無線の情報が入ると、自動的に電源が入り、内容を確認することができます

地域フォーラム共催団体・地域ファシリテーター募集のお知らせ

わかやま NPO センターでは昨年度、NPO 法人化 15 周年を記念し、県内の NPO・ボランティア団体と共催で、地域づくりにつながる事業を実施する「地域フォーラム事業」を開催し、多くのご応募をいただきました。今年度は、団体向けの「地域フォーラム」に加えて、地域づくりに積極的に取り組む個人を対象とした「地域ファシリテーター」育成事業を新設し、持続可能な地域づくりを団体・個人双方の側面から応援いたします。幅広いご応募をお待ちしております！

- ### 【団体対象】「地域フォーラム」開催事業
- ・県内で活動する NPO 法人・ボランティア団体等を対象 (複数の主体が運営に関わることができる事業を推奨)
 - ・参加者同士の学び合いの場づくりが行われる事業で

あることを条件とします
・1件につき、総事業費の1/2以下かつ10万円を上限にわかやま NPO センターが事業費を負担します

- ### 【個人対象】「地域ファシリテーター」育成事業
- ・地域づくりに携わる個人を対象 (所属団体等の推薦状が必要)
 - ・地域課題を把握し、課題解決のための方策を検討し、持続可能な地域づくりをめざす事業に対して支援を実施します
 - ・年間20万円を上限に活動費を支援します
 - ・最長2020年3月まで支援可能

どちらも、わかやま NPO センターの役員・職員が事業運営をサポートさせていただきます。

詳しい募集要項と応募用紙は、わかやま NPO センターウェブサイトにも掲載しておりますのでご覧ください (<http://www.wnc.jp/>)。多くのご応募をお待ちしております！
応募締切は9月11日(金)17時必着。応募者を対象にヒアリングを実施します。



昨年度の「地域フォーラム」の様子。講演やパネルディスカッション、ワークショップなど、多彩なメニューで事業が展開されました。



みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- 午後のシャンソン
土曜日の午後、バーゼンドルフアのピアノの音色とお洒落なシャンソンの歌声をお楽しみください。今回のテーマは「海」です。
日時 8月11日(土) 14:00~15:00
場所 フォルテワジマ4F
参加費 無料
曲目 ラメール、海のマリー、ホテルノルマンディー、思い出のシチリアなど
問い合わせ 和歌山シャンソン友の会 (073-451-3288) フォルテワジマ (073-488-1900)
- 夜のパポロハスマーケット『夏祭り』
8月のパポロハスマーケットは夜開催。盆踊り、車いすの方たちによる浴衣のファッションショーも。
日時 8月12日(日) 16:00~21:00
場所 ぶらくり丁・中ぶらくり丁商店街
参加費 無料 (買い物は有料)
問い合わせ ポポロハスマーケット実行委員会 (073-425-8583・紀州まちづくり舎内)
- 夕暮れ Jazz Cafe
今年で12回目を迎える地元アーティストや有名アーティストによる野外ジャズライブ。
日時 8月12日(日) 18:00~
場所 和歌山市民会館前広場
参加費 無料 (フード・ドリンクは有料)
問い合わせ 和歌山市民会館 (073-432-1212)
- 夏休み食の安全親子教室・食品工場へ行ってみよう！
親子で参加できます。
日時 8月22日(水) 13:30~15:00
場所 株式会社たにぐち (日高川町)
対象 小学3年~6年生のお子さんと保護者
定員 10組20人 (先着順)
参加費 無料 (申し込み必要)
申し込み・問い合わせ 住所、児童氏名(学年)、保護者氏名、電話番号を、和歌山県庁食品・生活衛生課 (FAX 073-432-1952、メール e0316001@pref.wakayama.lg.jp)
備考 8月16日締め切りです。定員に達し次第締め切りとなります。

このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」
URL <http://eventboard.shiminjuku.jp/>

